

先週、私たちは罪人なんだということを学びました。神さまの前に私たちの行い・言葉・心の中もすべて知られており、神さまの義・聖・真実に照らして、少しでもかなわなければすべてが罪と定められます。だからこそ、十字架で死に、死から復活してくださったイエスさまによる罪の赦しと救いを求めなければならないことを学びました。それが神さまの子どもとして生きることであり、教会に来ることでした。

教会に来ること、神さまを礼拝することが、神さまの子どもとして、非常に大切なことです。そのため、今日のカテキズムでは、このように語ります。

問4 神さまの子どもとして歩む生活で、だいじなことは何ですか。

答 神さまが、ご自分の子どもとして集めてくださった教会の生活を大切にすることです。毎週主の日に神さまを礼拝し、祝福をいただき、世界に送り出されて神さまに仕えて歩むことです。

十戒でも語っています。

申命記5:12 安息日を守ってこれを聖別せよ。あなたの神、主が命じられたとおりに。

教会に来ること、礼拝に集うことは、日曜日に時間が空いているから来るのではないのです。神さまはイエスさまによってあなたを神さまの子どもとしてくださいました。神さまはあなたを愛しておられます。そのため、あなたが教会に来ることを、神さまは喜んでくださいます。

もちろん、礼拝を休んでしまうときもあるかと思えます。それでも、神さまはいつでもあなたのことを覚えていてくださいます。教会に来ないことを寂しい思いでおられます。だからこそ、教会に来ることができないときにも、「神さまごめんなさい」とお祈りすると、神さまは嬉しいのだと思えます。

そして、あなたが神さまの子どもとして喜んで毎日を暮らすとき、神さまは喜んでくださいます。

今日も、みんなが礼拝に出席してくださったことを、神さまは喜んでいてくださいます。

お祈りします。

神さま、イエスさまの十字架により私たちを救い、神さまの子どもとしてくださり、ありがとうございます。どうかこれからも喜んで教会にくることができるようになってください。このお祈り、イエスさまのお名前により、お祈りします。 アーメン